

令和3年度  
稲敷市地域経済動向調査

令和3年4月  
稲敷市商工会

## I. 調査の目的

稲敷市の小規模事業者が持続的に発展していくためには、地域の経済動向を把握し事業者にフィードバックしていくことが重要である。本調査は業種ごとの景況感や販路開拓、商品開発等に関する経営状況を分析し、事業者に対する今後の経営支援につなげていくための基礎資料を作成することを目的に実施した。

## II. 調査分析方法

決算書のデータより事業者の財務内容の調査分析を行った。

## III. 調査対象

5業種（建設業・製造業・飲食業・小売業・サービス業）について各3者、延べ15者（A～O）の過去3年分（H30年・R元年・R2年）の決算書データを分析

## IV. 調査報告書の読み方及び注意事項

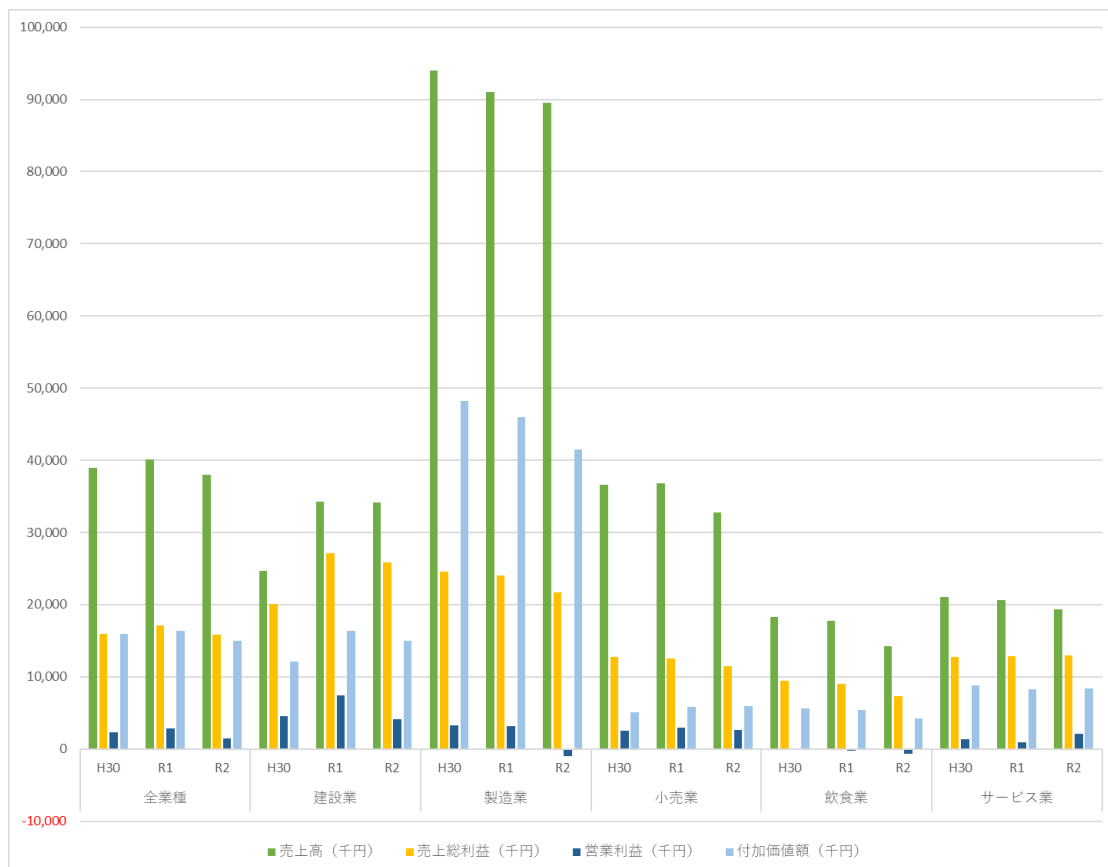
- 調査内容の金額は、千円未満を四捨五入している。
- 調査内容の数値は、小数点第2位以下を四捨五入している。

## 1.全業種の業況

### (1) 業況の推移

5業種別（建設業・製造業・飲食業・小売業・サービス業）に各3者の平均値を使用して各業種の業況を確認する。

【図表1：業況の推移】



【図表2：業況の推移（増減率）】

	全業種	建設業	製造業	小売業	飲食業	サービス業
売上高増加率 (%)	-5.2	-0.3	-1.6	-10.9	-19.9	-6.3
売上高総利益増加率 (%)	-7.2	-4.4	-9.6	-8.8	-18.6	0.9
営業利益増加率 (%)	-49.6	-44.7	-132.5	-11.7	-165.0	131.8
付加価値額増加率 (%)	-8.4	-8.4	-9.7	1.3	-22.8	0.9

## (2) 全産業の業況について

令和2年度の全業種の平均値についてみると、売上高は38,007千円（令和元年度比5.2%減）、売上総利益は15,874千円（令和元年度比7.2%減）、営業利益は1,435千円（令和元年度比49.6%減）、付加価値額14,988千円（令和元年比8.4%減）となっており新型コロナウイルスの影響で全体的に大幅なマイナス傾向となっている。

業種別にみると、

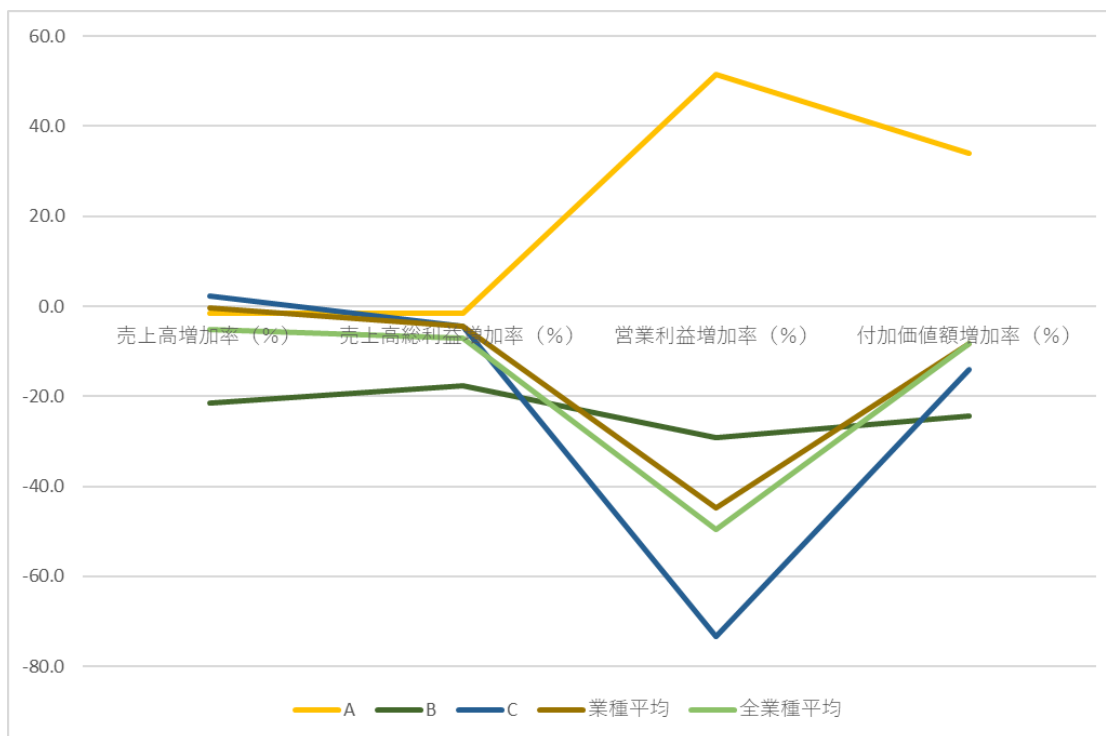
- ・建設業は、売上高増加率が-0.3%と全業種の中では減少が少なかった一方で、営業利益増加率が-44.7%と大幅な下落率となっている。
- ・製造業は、売上高増加率が-1.6%と全業種の中では減少が少なかった一方で営業利益増加率は-132.5%と大幅な下落率となっている。
- ・小売業は、売上高増加率が-10.9%、営業利益増加率が-11.7%と比較的大きな減少が見られたものの、付加価値額増加率が1.3%でわずかながら上昇がみられている。
- ・飲食業は、全ての指標において全業種を上回る下落率となっており、特に営業利益増加率は-165.0%と大幅な下落率となっている。
- ・サービス業は、売上高増加率で-6.3%と減少があったものの、営業利益増加率は131.8%と大幅な上昇がみられる。

次項から、業種毎の業況について、各サンプルの業績を分析しながら、考察していく。

## 2.業種別の業況

### (1) 建設業の業況

【図表3：建設業の業況】

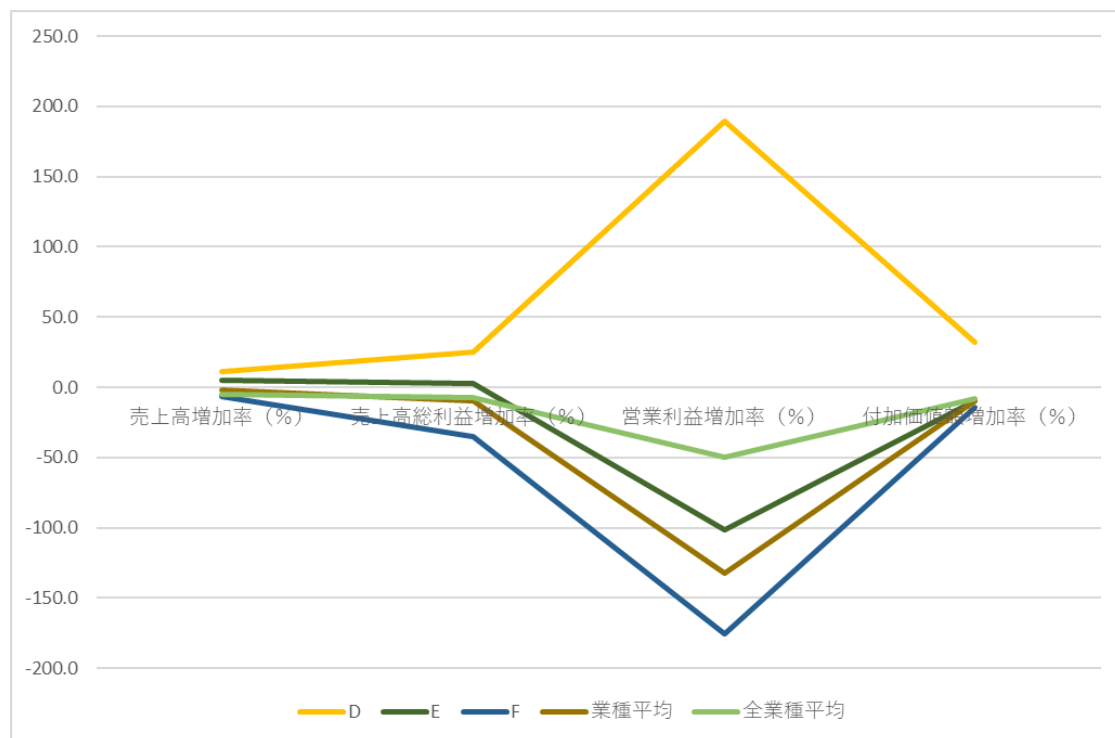


	A	B	C	業種平均	全業種平均
売上高増加率 (%)	-1.7	-21.5	2.3	-0.3	-5.2
売上高総利益増加率 (%)	-1.6	-17.8	-4.5	-4.4	-7.2
営業利益増加率 (%)	51.6	-29.1	-73.3	-44.7	-49.6
付加価値額増加率 (%)	34.0	-24.3	-14.0	-8.4	-8.4

- ・売上高増加率は2者が例年並みの数値であるが、1者が大幅な減少となっている。一方で営業利益増加率、付加価値額増加率共に増加した事業者は1者であった。建築資材高騰の中、コロナの影響を大きく受ける事業者とそうでない事業者の2極に分かれる様子が伺える。

(2) 製造業の業況

【図表 4：製造業の業況】

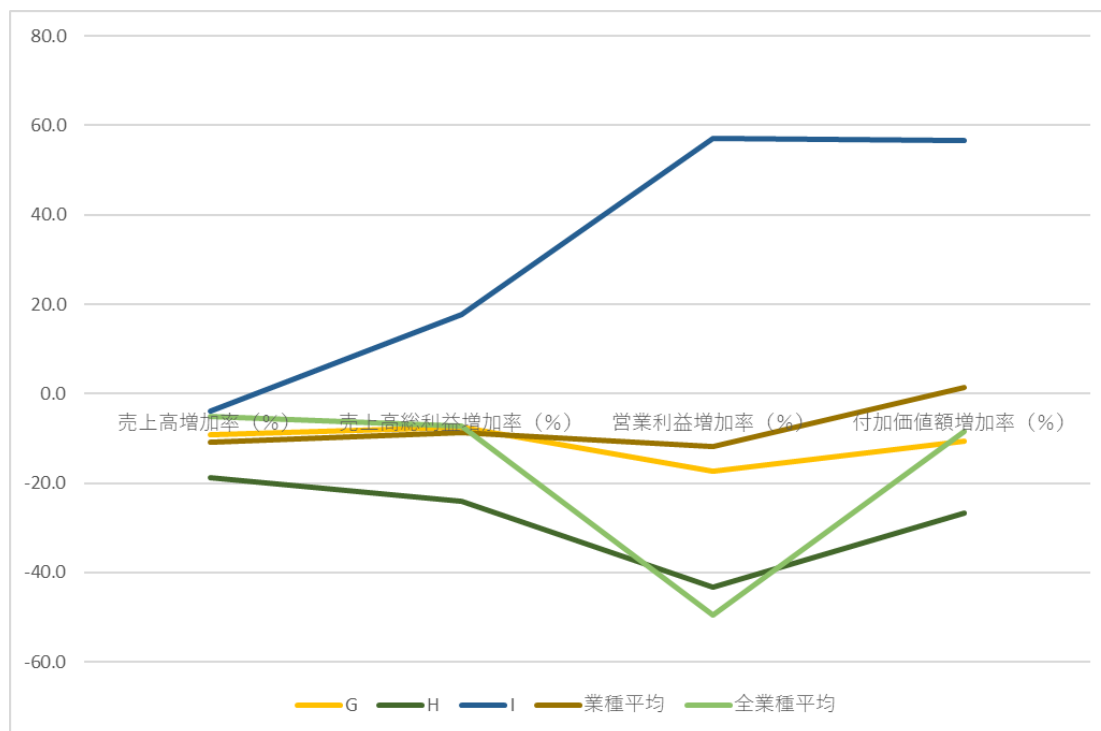


	D	E	F	業種平均	全業種平均
売上高増加率 (%)	10.9	4.7	-6.7	-1.6	-5.2
売上高総利益増加率 (%)	25.0	2.6	-35.1	-9.6	-7.2
営業利益増加率 (%)	189.3	-101.6	-175.4	-132.5	-49.6
付加価値額増加率 (%)	32.2	-9.8	-14.3	-9.7	-8.4

- ・売上高増加率と売上高総利益増加率は、2者が増加となった一方で、営業利益増加率と付加価値額増加率が増加した事業者は1者にとどまっている。原材料費や人件費が高騰するなかで、利益の確保が困難となっていることやコロナの影響を大きく受ける事業者とそうでない事業者の2極に分かれる様子が伺える。

### (3) 小売業の業況

【図表 5：小売業の業況】

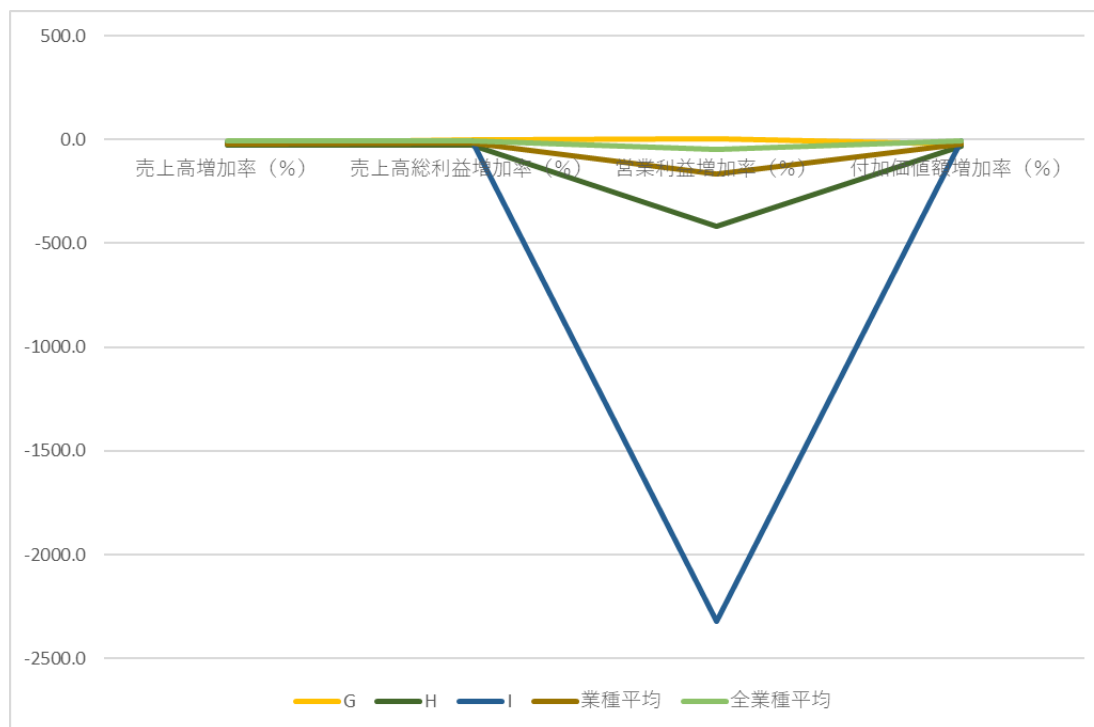


	G	H	I	業種平均	全業種平均
売上高増加率 (%)	-9.2	-18.8	-3.8	-10.9	-5.2
売上高総利益増加率 (%)	-7.5	-24.0	17.6	-8.8	-7.2
営業利益増加率 (%)	-17.3	-43.2	57.0	-11.7	-49.6
付加価値額増加率 (%)	-10.7	-26.6	56.6	1.3	-8.4

- ・売上高増加率は全事業者が減少、売上高総利益増加率、営業利益増加率についても2者が減少となった。インターネット通販市場の拡大などで事業環境が大きく変化するなかコロナの影響が輪をかけ多くの小売業で収益環境が悪化していることが伺える。
- ・また、付加価値額増加率は2者が減少している。事業環境が変化する中、地域小売店ならではの付加価値の提供が不可欠となっている。

#### (4) 飲食業の業況

【図表 6：飲食業の業況】



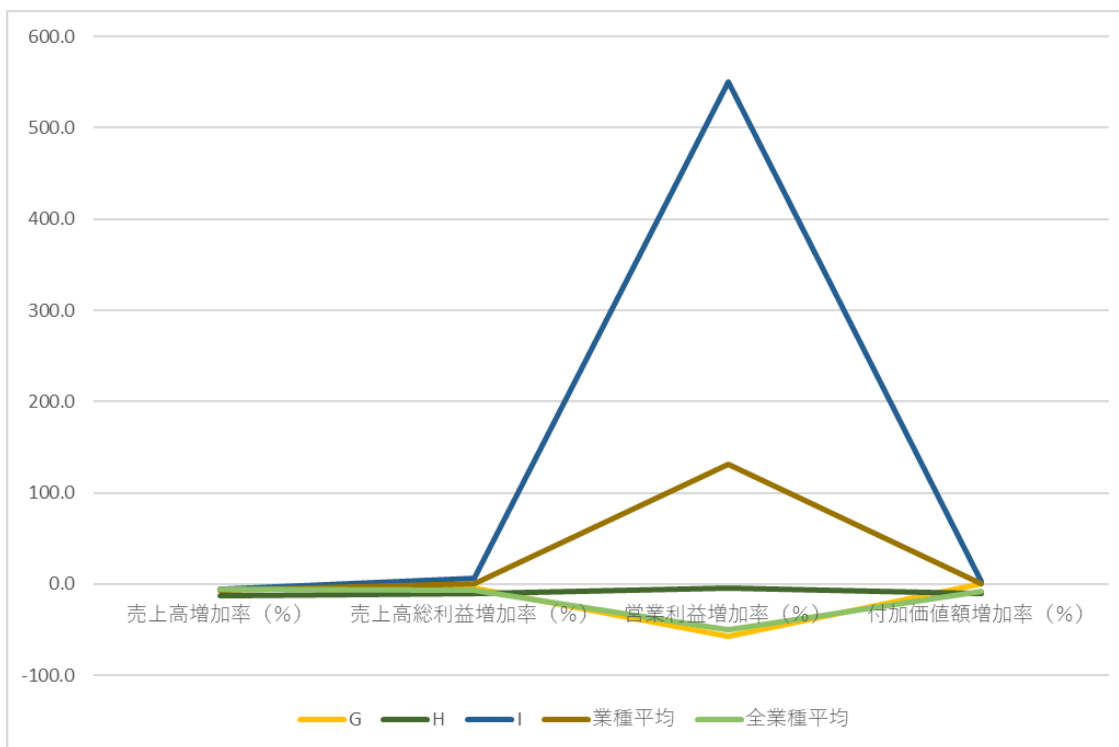
	J	K	L	業種平均	全業種平均
売上高増加率 (%)	-14.4	-25.9	-13.6	-19.9	-5.2
売上高総利益増加率 (%)	-3.5	-28.7	-8.1	-18.6	-7.2
営業利益増加率 (%)	4.6	-419.9	-2320.0	-165	-49.6
付加価値額増加率 (%)	-22.4	-29.8	-6.7	-22.8	-8.4

- ・ コロナの影響を大きく受けた飲食業は、ほぼ全ての数値において全業種平均を大きく上回る下落率となった。飲食業界を取り巻く環境は厳しさを増しているが、営業利益増加率をプラスにする事業者から経営努力による収益の確保が行なわれていることが伺える。



(5) サービス業の業況

【図表7：サービス業の業況】



	M	N	O	業種平均	全業種平均
売上高増加率 (%)	-5.8	-12.6	-5.5	-6.3	-5.2
売上高総利益増加率 (%)	-4.7	-10.6	6.6	0.9	-7.2
営業利益増加率 (%)	-57.5	-3.8	550.9	131.8	-49.6
付加価値額増加率 (%)	0.7	-10.4	3.1	0.9	-8.4

- ・売上高増加率は全事業者が減少、コロナの影響が比較的少ない非対面の業態以外は売上高総利益増加率、営業利益増加率共に減少となっており各事業者とも収益の確保に苦戦している状況が伺える。